



国土交通省 中部地方整備局

富士砂防事務所

Mount Fuji Sabo Office, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



Press Release

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和3年3月31日
国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

砂防施設（富士山大沢川遊砂地）で土石流を止めました （続報）

3月21日の降雨で、富士山大沢川ではスラッシュ雪崩による土石流が発生しましたが、砂防施設（大沢川遊砂地）が効果を発揮したため、被害はありませんでした。その後の調査で大沢川遊砂地で捕捉した土砂量が約47万 m^3 であることが判明したので、お知らせします。

1. 内 容（別紙1）

富士山周辺では、3月21日の降雨により、大沢川上流の大滝雨量観測局で時間最大雨量31mm（3月21日15時～16時）、累加雨量258mmを観測しました。

同日14時8分頃に岩樋観測所の監視カメラで土石流の発生を確認しましたが、大沢川遊砂地が効果を発揮し、下流域での被害はありませんでした。

その後、3月22日から26日にかけてドローンを活用した計測を行い、本日まで解析を行ったところ、大沢川遊砂地で捕捉した土量が約47万 m^3 に達することが判明しました。

これは大沢川遊砂地を設置して以降、一回の降雨による土砂捕捉量としては過去最大です。

2. 配 布 先：静岡市政記者クラブ、富士宮市記者クラブ、富士記者クラブ 山梨県政記者クラブ

3. 備 考：記者発表資料は「富士砂防事務所ホームページ」にも掲載しています。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/index.html>

また、土石流の映像は提供可能です。必要な場合はお問い合わせください。

【問合せ先】 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

副 所 長 西原 均

調 査 課 長 村松 弘一

TEL 0544-27-5221

メール cbr-fujisabo@mlit.go.jp

1. 大沢川の土石流と、遊砂地の効果

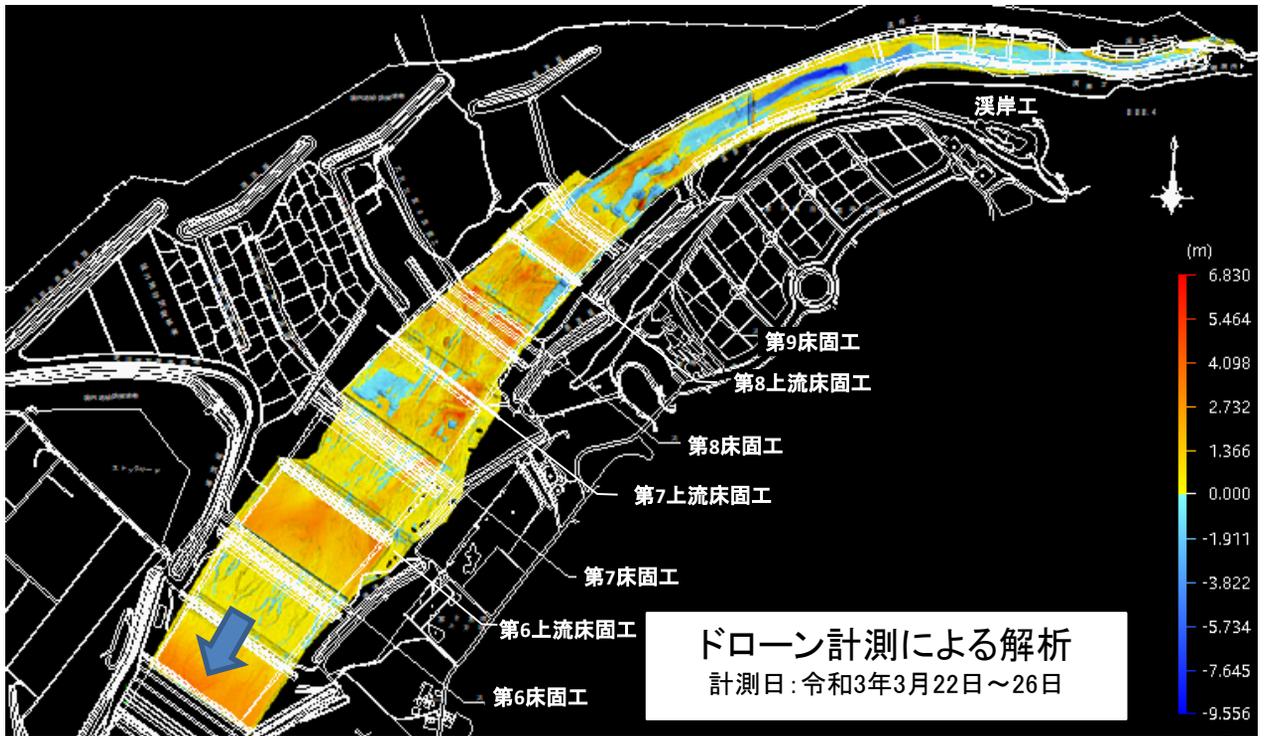
3月21日の降雨で発生した土石流は、その後の調査で大沢川遊砂地で捕捉した土砂量が約47万 m^3 であることが判明しました。
 一回の降雨で流入・捕捉した土砂量としては**過去最大**です。
 なお、積雪箇所当たる土砂の発生源部付近については、融雪後に正確な計測を行う予定です。

位置図

発生箇所(富士宮市)



2. ドローンを活用した土砂捕捉量解析



大 沢 川 遊 砂 地
土 砂 捕 捉 量 : 約 4 7 万 m^3
(一回の降雨による土砂捕捉量では過去最大)